

臨床実習 感想文

実習期間：平成 30 年 5 月 21 日～平成 30 年 7 月 5 日

私は今回上溝整形外科リハビリクリニックで約 7 週間の臨床実習でお世話になりました。初めての「治療実習」ということで、これまで学校で学んできたことを実際の現場で活かし、理学療法士の先生方の指導のもと患者様へ治療をさせていただきました。理学療法学生ということで、まだまだ足りない知識・技術はもちろん数え切れないほどありました。しかし、それら一つ一つに改善策を考え実行していく、という経験の中で私は大きく成長できたと思います。それも全て指導者の先生を始めとした先生方のご指導があったことであると思います。上溝整形はスタッフの方々がとても優しく明るい雰囲気にも包まれた環境で、現代社会で多くの方が抱えていると思われる「腰が痛い」「膝が痛い」「姿勢が悪くて気になる」などの悩みを、地域に一番身近な所で治療を行っていくような病院でした。そのために幅広い疾患・治療の知識がないといけなく、今回私は膝関節を中心に経験させていただきましたが、膝関節一つを治療するにおいても膨大な量の知識が必要でした。

そんな中、悩みを持った患者様を治療するために先生方は毎日のように勉強をし、年齢・立場の上下に関係なく持っている知識を教え合い、共有し合っている姿を私は拝見させていただきました。それを見てとても楽しそうに勉強をしているなという印象を持ちました。私たち学生はどうしても定期試験や国家試験のために勉強をしなければならないと追い込まれ思いがちですが、その先にある「患者様を治す」という目的を持った学習という物は、学校で学ぶことだけでない深い深い知識が必要であり、学んで考えた分だけ患者様へのより良い治療を行っていけるのであると学びました。そして実際に私も先生方からご指導いただき、自己学習を行いました。それらを後日患者様へ応用し治療を行って、患者様のストレスを改善させることが出来た時、患者様が喜ぶ姿を見てとても嬉しかったし、自分の成長も感じてその時から本当に学ぶことが楽しいと思えるようになりました。まだまだ私の知識の量は先生方の足元にも及びませんが、これから先学校でも先生方のように様々な分野に興味を持ち、学んでいきたいと思いました。そして臨床現場に出てからも、今回感じたような、ともに成長し合える・学ぶことを楽しめるような環境で理学療法士としての自分を高めていけたらと思います。

7 週間という期間の中で先生方から本当に多くを学び、目標となる先生方と出会い、自分に足りないものが明確になりました。今回学び、感じた大切なものを糧としてこれからもより一層勉学に励んでまいりたいと思います。

お忙しい中このような素敵な環境で充実した実習を送らせていただいた関係者の皆様へ、深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

仙台青葉学院短期大学 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 3 年
鈴木 匠人